

V 研究活動と研究環境

1 専任教員の教育・研究業績

(表24)

所属 英語観光学科	職名 教授	氏名 石原 敬子	大学院における研究指導担当資格の有無 (無)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年月日	概 要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)			
種々のトピックを用いて英語の発話練習	2016(平成27)年	提示された絵(写真)を見てその場で英語で描写したり、賛否を問う設問に対して英語で意見を言ったりする練習を演習のウォームアップ活動として行った。	
音読練習成果の可視化	2016(平成27)年	Pronunciationの授業において、各回に扱う素材を「練習前」「練習後」に分けて音読し、その速度を記録していった。練習を繰り返すことが発話の自動化につながることを感じた学生もいた。	
「人に理解してもらうこと」を意識した音読課題	2015(平成27)年～現在	毎週授業で順不同に使用するテキストの素材を事前に割り当てた担当者が音読し、それに基づき他の学生が聴解テストを受ける。担当以外の学生に「伝わる英語」を意識して練習してくるため、担当学生の音読の精度が上がると同時に、他の学生も集中して英語を聴く練習となった。	
速音読課題(隔週)	2014(平成26)年～2015	演習受講者に対し、週ごとに異なる100語程度の素材を授業内に音読練習し留意点を確認した上で、各自に速音読練習とその記録を課した。より滑らかな発話及びリスニング力を鍛えることを目的とする。	
早口言葉練習課題(毎週)	2014(平成26)年	英語音声学の受講者に対し、毎週授業内で練習をする早口言葉をさらに各自で練習し、翌授業日までに個人的に担当者に音読を聞かせ、担当者からのコメントを記録していくことを課した。定期的に個別に評価を受けることで、各自の弱点が明確になる。	
英語・日本語にリメイクされた日本語・英語の歌と各原曲との歌詞のリズム比較	2013(平成25)年	演習の授業で、英語と日本語の音声的特徴から生じるリズムの違いを理解するために、英語にリメイクされた日本語の歌、日本語にリメイクされた英語の歌をそれぞれ原曲と比較して研究した。	

日本語の歌謡曲英訳	2012(平成24)年	学生が、選んだ日本語の歌謡曲を分担して英訳し、それを曲に合うようにアレンジし、English Festivalで披露した。日本語の「拍」と英語の「音節」によるリズムの感じ方・教え方の違いを実感する機会となった。
TOEIC関連語彙のテスト(毎週)	2011(平成23)年～現在	演習(3・4年次)の時間に毎時間TOEIC関連語及び例文を覚える課題を与え、翌週に小テストを実施する。解答確認は各自でさせ、その後全体で語彙・例文を音読する。音声的学習によりTOEICの力を上げることを目的としている。
2 作成した教科書、教材、参考書		
『TOEIC L&Rテストでる模試 リスニング700問』(ハッカーズ語学研究所著、アスク出版)	2017(平成29)年1月出版	韓国で語学教育において高い指示を受けるハッカーズ語学研究所の著書の日本での出版にあたり、TOEICリスニング問題の一部を英和翻訳した。
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
神戸海星サマースクール 小学校英語実践講座・免許状更新講習「A. 英語運用力講座(小学校英語活動に役立つ発音トレーニング)」(マンソン講師と共同)	2016(平成28)年8月17日	日本語として日常的に使用されるカタカナ語と実際の英単語との音を比較し、リズムの違いや発音の違いを観察したり、英語の発音を示すためのカタカナの使用について考察した。またナーサリー・ライムを用いてリズムの違いを確認した上で、教室で使用する英文をリズムを付けて言う練習をしたり、フォニックス理論を用いた活動例を紹介したりした。
神戸海星サマースクール 小学校英語実践講座・免許状更新講習「A. 英語運用力講座(小学校英語活動に役立つ発音トレーニング)」(マンソン講師と共同)	2015(平成27)年8月19日	同上
石原敬子の英語発音セミナーVOL.9 ～理論と実践で英語発音の基礎を確認する その2～(セミナー)	2015(平成27)年7月18日	前半は英語の口を作る練習(子音・母音)を中心に進め、後半は、会話の上で一つひとつの発音よりも重要な役割を果たす「英語のリズム」に焦点を当てた練習も行う。大人の学習者に必要な基礎的理論と実践によるセミナー。(つなぎすとサロン主催 第173回セミナー)
石原敬子の英語発音セミナーVOL.8 ～理論と実践で英語発音の基礎を確認する～(セミナー)	2015(平成27)年3月8日	前半は英語が「英語らしく」聞こえるための基本となる「英語の子音・母音」の特徴を確認し、後半は、会話の上で一つひとつの発音よりも重要な役割を果たす「英語のリズム・イントネーション」に焦点を当てた、大人の学習者に必要な基礎的理論と実践によるセミナー。(つなぎすとサロン主催 第142回セミナー)

石原敬子の英語発音セミナーVOL. 7 ～音を感じながら英文を楽しむ～ (セミナー)	2014(平成26)年11月2日	「キラキラ」「ギラギラ」という音が「光る」イメージをもつように、英語においても「gl-」という音が「光る」イメージをもつ。また母音の違いによりその音が表す物の大きさが違って聞こえる例もある。そのような音のイメージにふれ、音を感じながら英文音読練習をし、最終的に各参加者が絵本朗読を実践した。(つなぎすとサロン主催 第109回セミナー)
神戸海星サマースクール2014小学校英語実践講座・免許状更新講習「A. 英語運用力講座(小学校英語活動に役立つ発音トレーニング)」(ハワード講師と共同)	2014(平成26)年8月20日	日本語として日常的に使用されるカタカナ語と実際の英単語との音と比較し、リズムの違いや発音の違いを観察したり、英語の発音を示すためのカタカナの使用についてディスカッションを行った。また、大人から子どもまであらゆる世代に親しまれる歌の英語版・日本語版の比較からもリズムの違いを確認した。
石原敬子の英語発音セミナーVOL. 6 ～「なんか違う」を分析する～ (セミナー)	2014(平成26)年7月20日	英語発音ポイントやその上達方法について悩む英語学習者は少なくない。そこで、英文特有のリズムの特徴について単語レベルから文章レベルまで順を追って理論的に説明し、さらにイントネーションの基礎について説明しながら、具体的に実践練習を行った。(つなぎすとサロン主催 第84回セミナー)
石原敬子の英語発音セミナー(名古屋編)～徹底的にリズムにこだわってみよう♪～ (セミナー)	2014(平成26)年5月31日	英語の音声面での最も特徴的な要素の一つであるリズムについて理解し、実践に繋げるヒントを体得することを目的としたセミナー。英語特有のリズムを作り出す要素は一つひとつの単語にあり、その単語が置かれた環境(前後の単語や文中のどの位置にあるか等)にある。複数のNursery Rhymes(いわゆる「わらべうた」)を使用し、英語の基本的なリズムを実践した。(つなぎすとサロン主催 第71回セミナー)
石原敬子の英語発音セミナーVOL. 5 ～徹底的にリズムにこだわってみよう♪～ (セミナー)	2014(平成26)年3月9日	英語の音声面での最も特徴的な要素の一つであるリズムについて理解し、実践に繋げるヒントを体得することを目的としたセミナー。英語特有のリズムを作り出す要素は一つひとつの単語にあり、その単語が置かれた環境(前後の単語や文中のどの位置にあるか等)にある。複数のNursery Rhymes(いわゆる「わらべうた」)を使用し、英語の基本的なリズムを実践した。(つなぎすとサロン主催 第48回セミナー)
石原敬子の英語発音セミナーVOL. 4 ～声でいろいろな気持ちを表現してみましょう～ (セミナー)	2013(平成25)年9月22日	「明るく親しみやすい雰囲気の話 vs. 興味無さげな話」「確信を持った話 vs. 自信の無い話」「相手を思いやる話 vs. 上から目線の話」など、話す内容をどのような気持ちで相手に伝えたいかにより、英語の話し方・読み方は異なる。英語の抑揚(イントネーション)の基本的な特徴を解説した上で、用意した対話を受講者がグループごとに練習し、発表した。(つなぎすとサロン主催 第24回セミナー)
石原敬子の英語発音セミナーVOL. 3 ～音読・黙読が楽になる第一歩 (セミナー)	2013(平成25)年7月7日	英文をどのように読むと相手に分かりやすく且つ英語らしい話になるかを、「チャンク(区切り)」と「呼吸」という2つのポイントに絞って理論的に解説し、実践練習をした。息の使い方については、英語話者の呼吸・英語学習者の呼吸を音声分析ソフトを用いて視覚的に確認した。(つなぎすとサロン主催 第19回セミナー)

「英語学習における音読の有用性」(口頭発表)	2013(平成25)年3月27日	英語学習者が発音を習得することは、英語での会話において自分の英語を理解してもらえ、または相手の英語を理解することができる、といういわば「当たり前」の目標のためだけでなく、英語学習そのもののために有用である、ということ、主に文献調査した内容を基に述べ、いくつかの音読練習の方法を提示した。(言語文化研究所 第3回研究発表会)
石原敬子の英語発音セミナーVOL.2～音読練習が楽しくなる第一歩(セミナー)	2013(平成25)年2月24日	リスニングや音読練習をする上でのヒントを体得することを目的とし、英語音声面のポイントを「区切る」「口を動かす」「リズムに乗る」「抑揚をつける」「音の変化に注意する」の5つに分けて解説し、実践練習をした。(つなぎすとサロン主催 第11回セミナー)
石原敬子の発音セミナー～音でつながる～(セミナー)	2012(平成24)年9月2日	英語のリズムや音に敏感な口と耳を作ることを目的とし、英語学習をする上で音読が有用である理由を理論的に説明した後に、早口言葉を利用して受講者がグループ毎に練習、発表をした。その過程で、英語の音声的な特徴について実践を交えて解説をした。(つなぎすとサロン主催 第3回セミナー)
4 その他教育活動上特記すべき事項		
日本英語検定 1級合格	2017(平成29)年2月	下位級においても4技能試験として変わりつつある英検を受験。TOEIC Listening & Readingとの違いを分析する機会となる。(Writing及びSpeakingに課題が残る)
県立高校におけるTOEIC対策講座(講師)	2016(平成28)年1月～3月(3日間)	県立西宮北高等学校からの依頼により、高校2年生(30名)対象に3コマのTOEIC対策講座を実施した。TOEICテストの特徴及び講座終了後の学内TOEICに向けた学習方法、今後継続して英語学習をする上でのポイントについて講義をした。
第13回TOEIC®テストスコアアップ指導者養成講座(参加)	2016(平成28)年2月20日-21日、3月5日-6日(4日間)	アルク本社で実施されるTOEIC指導者養成講座。参加資格が「TOEIC900点以上またはTOEIC指導歴がある者」であるため、その道のプロが多く参加しており、質の高い刺激的なセミナーである。模擬授業やグループ討議等を通して多くのことを学んだ。セミナー終了後も、特に2016年5月から実施される新形式テストについて情報交換及び勉強会を継続している。
TEAP(4技能) 393/400点取得	2015(平成27)年12月	今後、大学入試において求められる4技能を測る試験についての調査も兼ね、高校生に混じって受験した。(7点の減点はReading分野)
県立高校におけるTOEIC対策講座(講師)	2014(平成26)年1月～3月(4日間)	県立西宮北高等学校からの依頼により、高校2年生(40名)対象に5コマ、英語科教員対象に1コマのTOEIC対策講座を実施した。TOEICテストの特徴及び講座終了後の学内TOEICに向けた学習方法、今後継続して英語学習をする上でのポイントについて講義をした。

第10回TOEIC®テストスコアアップ指導者養成講座（参加）	2014(平成26)年1月25日-26日、2月8日-9日（4日間）	アルク本社で実施されるTOEIC指導者養成講座。参加資格が「TOEIC900点以上またはTOEIC指導歴がある者」であるため、その道のプロが多く参加しており、質の高い非常に刺激的なセミナーである。模擬授業やグループ討議等を通して多くのことを学ぶことができ、セミナー終了後も情報交換及び勉強会を継続している。			
TOEIC Listening & Reading 990/990点取得	2013(平成25)年11月	TOEICの特徴について学び始めて3年目となる2013(平成25)年11月実施の公開テストにおいて満点達成。			
第9回TOEIC®テストスコアアップ指導者養成講座（参加）	2013(平成25)年2月16日-17日、3月2日-3日（4日間）	アルク本社で実施されるTOEIC指導者養成講座。参加資格が「TOEIC900点以上またはTOEIC指導歴がある者」であるため、その道のプロが多く参加しており、質の高い非常に刺激的なセミナーである。模擬授業やグループ討議等を通して多くのことを学ぶことができ、セミナー終了後も情報交換及び勉強会を継続している。			
II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
論文					
「英語学習における音読の有用性～音読と脳のはたらき～」	単著	2014(平成26)年3月	『言語文化研究』，創刊号		55頁～66頁
III 学会等および社会における主な活動					
つなぎすとサロン主催「英語発音セミナー（3回シリーズ）」（2016(平成28)年5-8月）	一般向けの連続講座（各回90分完結）として、連続性と発展性、かつ単発参加でも理解できる内容を考慮し、参加者が学習しやすいように工夫した。①「英語発音の基礎を確認する」、②「徹底的に英語のリズムにこだわる」、③「抑揚でいろいろな気持ちを表現する」				
国際英語発音協会主催「英語発音セミナー」（2016(平成28)年9月10日）	国際英語発音協会主催のセミナー。（於 大阪）「より英語らしく読むために必要なこと」と題して、相手に伝わり易い英語を発話する上で知っておいた方がよい音声的ポイントについて理論的に講義し、参加者に実践してもらった。（1時間45分）				
国際英語発音協会主催「発検」審査員（2015（平成27）年9月～現在）	大阪・東京（各年3回）及びオンライン（随時）で実施される「発検（英語発音検定試験）」実施後、必要に応じて審査に携わっている。				

<p>国際英語発音協会 理事 (2012 (平成24) 年9月～2015 (平成27) 年8月)</p>	<p>大阪及び東京にて毎年3回の「発音検定」を実施しており、それぞれの企画及び主に大阪開催時の運営を担当している。</p>
<p>国際英語発音協会主催「英語発音セミナー」 (2014(平成26)年1月19日)</p>	<p>理事を務める国際英語発音協会主催のセミナー。(於 東京) 理事長による「母音の発音方法とT音の変化」と題する講演に続き、もう1名の理事と共に「発音検定のウラ側をちょっとのぞき見コーナー」を担当。発検に音読問題として出題されていた「Little Red Riding Hood」の発音レッスンや、毎日の学習や発検受験とレベルアップにすぐに役立つ情報について話した。</p>